

とんぼりニュース

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp

道頓堀商店会事務局
〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542 FAX.06-6211-9764
発行人:上山 勝也

2017年
8月号
Vol.142

2017年7月27日
発行

【道頓堀盆おどりインターナショナル2017】

8月12日(土)=カラオケ大会・13日(日)=盆おどり大会を開催します。

“大阪万博いらっしゃい!”をテーマに、2025年国際博覧会の大坂誘致に向けて、道頓堀から大阪を世界にアピール。世界各国から多くの方に参加いただき、よりインターナショナルな“BON-DANCE”フェスティバルを開催します。

スケジュール

8月12日(土)

〈水上ステージ〉

10:00~12:00 13:00~15:00 カラオケ大会本選
15:00~15:30 嘉門タツオステージ「大阪万博いらっしゃい!!」
15:45~16:45 カラオケ大会決勝戦

〈とんぼりリバーオーク〉

12日・13日の終日、世界楽市(世界の料理など飲食ブース)がオープン。

8月13日(日)

〈水上ステージ〉

13:00~13:30 「こいや祭り」ダンスパフォーマンス
13:30~17:30 ダンスパフォーマンス
17:30~18:00 アフリカングループダンス(A.Y.A with friends)
18:15~18:45 尾河内音頭まつり振興会(日吉家保若師匠一行、栄会)
18:45~19:00 在阪各國領事メッセージ(予定)
19:00~22:00 盆おどり
(櫻川好信、櫻川好一、好きやねんなにわの民謡会他)

主催 道頓堀盆おどりインターナショナル2017「大阪万博いらっしゃい」運営委員会
(構成団体:道頓堀商店会・世界盆おどり連盟・大阪活性化事業2017実行委員会・2025日本万国博覧会誘致委員会)



▲点灯式でいさつする上山会長。



▲グリコのネオン下を行くクルージングボート。



◆灯が点った「大阪万博2025」の提灯。



◆外国人観光客にも好評の「万灯祭提灯」。



◆「大阪万博2025」の提灯。「戎橋上に設置された」とあります。

道頓堀川万灯祭を楽しんでいます。

今年は1266灯の献灯をいただき、1300を超える提灯の明かりでとんぼりリバーオークの両岸がにぎわっています。

7月1日には、柏木陸照大阪市経済戦略局長、千田忠司大阪市商店会総連盟理事長などの来賓を迎えて、「大阪万博2025」をめざして盛大に点灯式が行われました。7月15日・16日に開催された「にぎわいスクエア」をはじめ、数多くの夏のイベントが提灯の明かりの元で行われ、浴衣姿の女性や外国人観光客の皆さんなど道頓堀を訪れる人々が、提灯が点る道頓堀川の風情を楽しんでいます。

なお、皆様から献灯により寄せられた献金の一割126万6千円を義援金として、日本赤十字社を通じて熊本地震で被災された地域へ送らせていただきます。



1979年、この作品が「音楽劇」として上演されたのは世界初の試みで、22歳の大竹しおが孤独な影を隠した少年をはつひつと演じました。38年の時を経て、新橋演舞場・大阪松竹座にて同じ「Injinjin」役を演じます。

1979年、この作品が「音楽劇」として上演されたのは世界初の試みで、22歳の大竹しおが孤独な影を隠した少年をはつひつと演じました。38年の時を経て、新橋演舞場・大阪松竹座にて同じ「Injinjin」役を演じます。

1979年、この作品が「音楽劇」として上演されたのは世界初の試みで、22歳の大竹しおが孤独な影を隠した少年をはつひつと演じました。38年の時を経て、新橋演舞場・大阪松竹座にて同じ「Injinjin」役を演じます。

ミュージカル「Injinjin」

大阪松竹座

道頓堀はり重寄席 第12回公演

レグルス第3回公演「ひまわり」

道頓堀SUPER歌謡劇場

心に響く!!昭和の流行歌

8・9月の興行一案内

道頓堀はり重寄席 第12回公演

レグルス第3回公演「ひまわり」

道頓堀SUPER歌謡劇場

8・9月の興行一案内

大阪で文楽を続ける。

まるで生きているようにしなやかに動く文楽の人形たち。その世界は物語を語る「太夫」、音楽を奏でる「三味線」、人形を操る「人形遣い」で成り立っています。

鶴澤寛太郎さんに文楽への思いなど、お話を伺いました。(聞き手・中田真弥子)



プロフィール

鶴澤寛太郎 (つるざわ・かんたろう)
1987年奈良生まれ。
人形浄瑠璃文楽座 三昧線部 技芸員。
1999年に祖父である7代鶴澤寛治(人間国宝)に入門、寛太郎と名のり、2001年1月国立文楽劇場で初舞台。
2009-2011-2014-2015 年文楽協会賞
2012年十三夜会賞 奨励賞
2012-2017年文楽劇場奨励賞受賞。
『阿古屋』では三味線・箏・胡弓と三種の楽器を操り、高い評価を得た。

—道頓堀からほど近い国立文楽劇場ですが、これから道頓堀について望むことはありますか?

それに外国からのお客様も以前より増えています。英語のイヤホンガイドや外國語のパンフレットなどもありますので楽しんでいただいている。

お客様を育てていく、そんな街と文楽であります。

心な気持ちもありますが、戻るわけがないので。

—文楽といえば人形を思い浮かべる人が多いと思いますが、三昧線は大事な要素ですね。

太夫、三昧線、人形遣いはそれぞれ独立しているんです。文楽には演出家はいらないので、それが出方、間合を見ながら丁々発止で舞台を作っています。どれが上の立場でもないし、合わせに行くのでもない。太夫と三昧線は間のやりとりや思惑を致させる必要があるので、何度も稽古をしますが、人形遣いとの稽古は回しかねないです。

—お祖父様は人間国宝の鶴澤寛治氏でいらっしゃいますが、最初からこの世界を志していましたのですか?

最初は琴を習っていました。稽古に行くとお小遣いをもらえたので(笑)。ある時、祖父の出ている舞台の三昧線を聞いていて、五人の三昧線の中で、祖父の音だけ違うと感じたんです。艶っぽいというか、潤いがあるというか……。

「あの音が出したい」と三昧線を始めました。親には「三昧線をやるということは習い事では済まないよ」と懲りを押されましたが、それほど三昧線が好きでしたから。

文楽といえば『曾根崎心中』がよく挙げられます。野澤松之輔が脚本と作曲を手が

けて今にならたのは60年ほど前のこと。

その初演で三昧線を務めたのが祖父でした。自分も初演の匂いのするものができます……。祖父の音は力強いけれど、要らぬ力は抜けで無駄がないんですね。まだ模索中です。



▲祖父・鶴澤寛治氏と琴の稽古

—2012年には『阿古屋』で箏・三昧線胡弓の三曲を務められました。

遊女の阿古屋が恋人景清の行方を問い合わせられます。第三昧線胡弓の三曲を演奏させられ、音の乱れで嘘でないか確かめるという場面。阿古屋の微妙な心情が表現される重要な演奏です。

実は『阿古屋』は滅多に上演されない演目なんです。胡弓を使う機会は少ないのですが、取り戻すのに少し時間がかかりました。何かの巡り合わせでこの曲を演奏できたのはありがたいことでした。人形遣いの桐竹勘十郎さんに「また君とやりたい」と言っていたいたのはうれしかったです。

—初舞台は13歳と随分早かったのですね。12歳で『鶴澤寛太郎』の名前をもつて、13歳で初舞台を踏みました。学校があるからと遠足に行けたのは半分くらいでしょう。高校には行かないと言っていたのですが、親に「受けただけでも……」

12歳で初舞台を踏みました。学校があるからと大阪の公演だけ出ていましたが、それでも学校は休みがちに。修学旅行は行けましたが、遠足に行けたのは半分くらいでしょう。高校には行かないと言っていたのですが、親に「受けただけでも……」

と言わせて、結局そのまま進学することになりました(笑)。学校の芸術鑑賞で普段自分が出ている舞台を観に来たこともあります。樂屋に行つて「勉強させていただきます」って挨拶して。不思議な感覚でしたね。卒業後に



▲「夏休み文楽特別公演」第2部(14:00~)で上演される「源平布引滝 九郎助住家の段」。鶴澤寛太郎さんは、この場面で三昧線演奏されます。



▶「夏祭浪花鑑」に登場する徳兵衛女房お辰。人形遣いは吉田賛助さんです。

—道頓堀商店街でも、老舗さんと一緒に長く続けてもらいたいというのはあると思いります。時代とともにお店はどんどん変わっています。そのため、その代表でもあるチーン店でも、もう何十年も根を下ろして商売をしているお店もあります。

文楽は庶民の芸能ですから、もっと気軽に来て欲しい。着物でおしゃれを楽しみながら観ていただくのも華やかでいいです。劇場として小さいお子さんでも楽しめる『金太郎の大ぐも退治』『赤い陣羽織』を上演します。

文楽は庶民の芸能ですから、もっと気軽に来て欲しい。着物でおしゃれを楽しみながら観ていただくのも華やかでいいです。劇場として小さいお子さんでも楽しめる『金太郎の大ぐも退治』『赤い陣羽織』を上演します。

(7月28日(金)~8月5日(火))

料金・前売当日とも470円
第1部 11時~ 源平布引滝
第2部 14時~ 夏祭浪花鑑
第3部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)

（7月28日(金)~8月5日(火)の第一部は販切）

第一部 11時~
金太郎の大ぐも退治 赤い陣羽織
第二部 14時~ 源平布引滝
第三部 18時30分~ 夏祭浪花鑑

(午前10時~午後6時)

電話・0570-107-0900
(学生)400円・18歳以下190円

お問合せ・国立劇場チケットセンター
(午前10時~午後6時)

7月22日(土)~8月5日(火)</p